今、福島ってどうなってるのの？

福島をまるっと紹介するリポートマンガ

第3回 果物編

福島第一原子力発電所事故から7年。私たちの周りにも「福島県産」の果物やお米、野菜などがずいぶん復活してきていることを感じます。でも、この食べ物って本当に安全…？本誌では、「今の福島」の様子をしっかりとリポートしてまいります！

取材・マンガ／おぐらなおみ　文責／レタスクラブ編集部
取材協力／JAふくしま未来

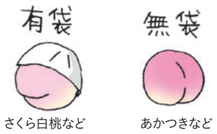
福島県はGAP認証日本一を目指しています！

GAP（Good Agricultural Practice）とは、直訳すると「良い農業のやり方」です。

農薬の管理、肥料の管理、水の管理、土の管理、放射能の管理に明確な基準が決められていて、この認証を取得することが、「食の安全」や「環境保全」に取り組んでいる「良い農場の目印」になります。

JAふくしま未来 佐藤さんに聞きました

夏の間、楽しめる 福島の桃たち



さくら白桃など　あかつきなど

6月末から出荷の「はつひめ」をはじめ、9月中旬に出荷予定の「さくら白桃」まで、おいしい桃が夏じゅう登場。特に7月末に最盛期を迎える「あかつき」は、袋がけをせずに育てる「無袋栽培」。袋がけをして育てる「有袋栽培」の桃と比べて、太陽の光をいっぱいに浴びるため味が濃く、甘いのが特徴です。福島の桃の安全性が確保されている今、福島ではおいしい桃を送り合うのが夏の風物詩。生産者の人たちは、贈答品として全国にもっと広がることを願っています。

どこで買えるか気になったらこちら！ JAふくしま未来のネットショップ

おぐらなおみ

群馬県出身。マンガ家＆イラストレーター。著書に『こんな息子に母がした』『育児バビデブー』（辰巳出版）。『働きママン１年生』『新 働きママン 谷のぞみ（32）ワーママデビューします！』（小社刊）。最新刊は、『母娘問題 オトナの親子』（中央公論新社）。